

問い合わせ先  
第十一管区海上保安本部  
海洋情報調査課長 鈴木 晃  
TEL 098-876-0118 (内線 2530)

平成18年6月27日  
第十一管区海上保安本部

## リーフカレントの発生メカニズム解明のため共同研究調査を実施 ~県内のリーフ海域における海難事故防止のために~

沖縄にはリーフに囲まれたビーチが多数存在し、遊泳中リーフカレントと呼ばれるリーフ外への強い流れにより流されたと思われる事故が各地で発生しています。

十一管区では、このリーフカレントの一般的な発生メカニズムを解明するため、昨年から代表的なリーフカレント発生個所である石垣島の吉原海岸をモデル海域として調査を実施しています。

昨年は同海岸で流れを調査するとともに、リーフカレント発生に大きく関わると思慮された海底地形を航空レーザーにより測量しました。その結果、リーフ海域特有の海底地形に加え、風による波浪やうねりによって生じるリーフ内と外との水位差がリーフカレント発生の重要な要因の一つであることが判明しました。

このような昨年の調査結果を踏まえて、リーフカレントの発生メカニズムとその特性を解明するため、今年度は下記のとおり共同研究を行い、この研究の一環として現地調査を実施します。

### 共同研究の名称

リーフカレント等の観測手法及び発生機構の解明に関する研究

### 委員会の構成

委員長 琉球大学名誉教授 津嘉山正光

参加機関 鹿児島大学、東京工業大学、(財)日本水路協会、海上保安庁

### 現地調査の概要

- 1 時 期 平成18年6月25日(日)から7月25日(火)まで
- 2 調査区域 石垣島吉原海岸付近(別紙参照)
- 3 調査概要
  - ・波高計による波高及び水位の把握
  - ・熱赤外線カメラによる発生箇所の特定(流れと水温の関係を把握)
  - ・GPS フロートによる流況把握
  - ・流速計による流況把握
- 4 その他

今回の観測により取得されたデータから、リーフカレントと各種要因の詳細な関係やその発生メカニズムが解明され、今後のリーフカレントの発生を予測できるような基礎的なシミュレーションが可能となることが期待されます。

## 調査区域

